

# 森林文化見学会

～諏訪地域の樹木（社寺林）巡り～



2019年（令和元年）10月20日

## 本日の見学ルート（観察できる主な樹木）

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 0. 諏訪大社上社前宮駐車場        | 集合・開始 9:00                  |
| 1. 諏訪大社上社前宮 溝上社～本殿    | (ケヤキ・ハンノキ・フジ・ウワミズザクラ・イヌシデ)  |
| 2. 鎌倉街道 峰の湛え～神長官御左口神社 | (アカマツ・イヌザクラ・カジノキ・カヤ・クリ)     |
| 3. 鎌倉街道 天狗山～見晴らし台     | (トチノキ・イチイ・クワ・マメガキ・ウリノキ)     |
| 4. 神宮寺跡～墨縄神社          | (スギ・サイカチ・アサダ)               |
| 5. 諏訪大社上社本宮～大国主神社     | (ケヤキ・サワラ・バラモミ・カヤ)           |
| 6. 小坂観音               | (サワラ・スギ・ビャクシン・オオモミジ・イタヤカエデ) |
| 7. 諏訪大社下社春宮           | (スギ・ケンボナシ・カツラ・サイカチ)         |
| 8. 諏訪大社下社秋宮           | (イチイ・ハクショウ・カジノキ・アサダ)        |
| 9. 諏訪大社上社前宮駐車場        | 到着・解散 16:00                 |

注：しおり内（順位）は、「諏訪の巨樹・古木—神々の宿る木々」（諏訪林業振興会発行）による。

注：しおり内      は、NPO 法人八ヶ岳森林文化の会「市民の森に集う」① ②に掲載あり。



## 1. 諏訪大社上社前宮 溝上社～本殿

●ハンノキ (榛の木) : カバノキ科ハンノキ属 (196cm/24m①)



◎低地の湿ったところや  
湧水地に生える。



①125

●ケヤキ (欐) : ニレ科ケヤキ属



◎樹形は美しい扇形  
◎日本産広葉樹としては最大級となり、諏訪地方の巨木ベスト10中9本は本種。  
◎前宮の御神木は本種

②100

●イヌシデ (犬四手) : カバノキ科クマシデ属 (315cm/16m①)



◎シデは四手と書き、しめ縄や玉串に垂れ下がる細長く切った紙の事。果穂の形を四手に見立てたとか。②103



●フジ (藤) : マメ科フジ属

蔓の部分



◎日当たりの良い湿地性の山地に自生する。御神木に巻き付く②72



## 2. 鎌倉街道 (峰の湛え) ～ (神長官・御左口神社\*)

●イヌザクラ (犬桜) : バラ科サクラ属 (360cm /25m②)



◎推定樹齢 200 年  
◎白いブラシ状の花

②101



●カヤ (榎) : イチイ科カヤ属 (255cm/17m③)



◎山地に生え成長が遅い。  
◎材は緻密で硬く、囲碁盤や細工物などに適する。  
◎実は食用・薬用にする。



●カジノキ (梶の木) : クワ科コウゾ属 雌雄異株 (182cm/10m)



◎諏訪大社の神紋で、古来繊維から貴重な紙や布(白妙)がつくられた。  
◎九州・四国に自生する。



葉

実

●クリ (栗) : ブナ科クリ属 (311cm/11m)



◎縄文時代から食用にされた。保存食としても利用。

①123





### 3. 鎌倉街道（天狗社～見晴らし台～）

●トチノキ（栃ノ木）：トチノキ科トチノキ属（411cm/24m②） ●イチイ（一位）：イチイ科イチイ属（485cm/13m①）



◎推定樹齢250年  
◎種子は食用となる。  
トチもち、トチせんべい



②106



◎推定樹齢450年  
◎守矢氏氏神御神木  
◎昔、材から笏しやくを作った。  
◎別名アララギ・オンコ



●クワ（桑）：クワ科クワ属

●マメガキ：カキノキ科カキノキ属 ●ウリノキ：ミズキ科ウリノキ属



◎成長が早い。  
◎古くから養蚕のため栽培にされる。



①128



◎未熟な実から柿渋採取



◎葉の形がうりに似ている。千葉県では要保護生物の指定有り。

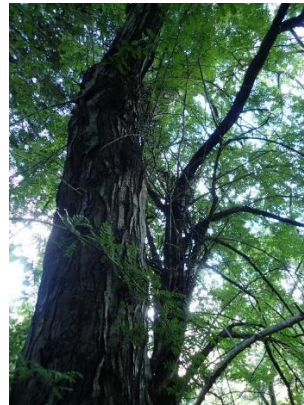
### 4. 神宮寺跡 ～ 墨縄神社

●スギ（杉）：ヒノキ科スギ属（545cm/23m③）

●サイカチ（檜）：マメ科サイカチ属



◎推定樹齢370年  
◎日本原産の常緑針葉樹  
◎尾根マツ谷スギ  
中ヒノキ。  
◎古くから建築材、曲げ物、線香等に利用される。

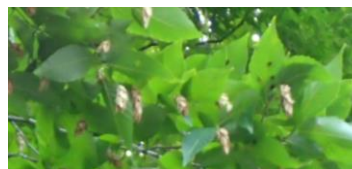


◎別名カワラカジノキ  
◎実利用のため栽培も。  
・サポニンを含み石鹼  
・生薬（去痰薬、利尿薬）  
・豆はおはじきなどに  
◎棘は腫れものやリウマチに効く。  
◎建築材、家具、薪炭  
◎若芽・若葉を食用

●アサダ（浅田）カバノキ科アサダ属（326cm/22m① 294cm/17m②）



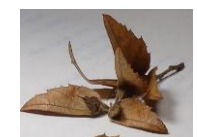
◎樹皮は灰黒色で縦に荒く短冊状に裂ける、老木は落ち着く。  
◎材は固く中国名は鉄木



<アサダ>



<イヌシデ>





## 5. 諏訪大社上社本宮～大国主神社

●ケヤキ (樺) : ニレ科ケヤキ属 (900cm/40m①)



◎大樺: 推定樹齢約千年。  
◎古くは贄・御狩の獲物 (お供え物) を掛け、祈願したことから「贄掛けの樺」と呼ばれ、境内最古の樹木の一つ。  
◎境内には、他にも謂れある樺有り。 ②100

●サワラ (榎) : ヒノキ科ヒノキ属 (580cm /27m①)



◎諏訪地方に自生する木のため、神社などを中心に巨樹・古木が多い。  
◎材は水に強く、風呂桶などに使われる。  
◎気孔線は X (檜は Y)

①118

●バラモミ (薔薇樺) : マツ科トウヒ属 別名ハリモミ



◎日本特産。  
◎モミに似るが、葉先が針のように尖り痛い。  
◎太平洋側に多く、日本海側の多雪帯にはほとんど分布しない。

●カヤ (榎) : イチイ科カヤ属 (425cm/17m①)

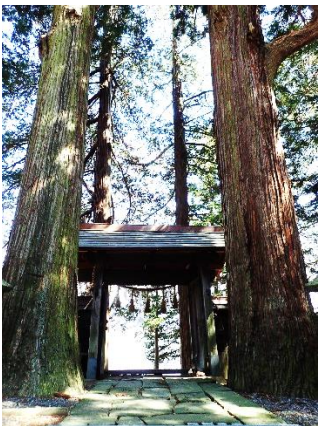


◎比較的標高の低いところに生育。八ヶ岳山麓では確認できず。  
◎地元では「かやのき様」の愛称で呼ばれる。  
◎隣に 275cm/12cm②がある。

## 6. 小坂観音

●スギ (杉) :

○スギの樹皮と葉



○ヒノキの樹皮と葉裏



気孔線が Y

○サワラの樹皮と葉裏



気孔線が X

●ビャクシン(柏真・別名イブキ) : ヒノキ科ビャクシン属

●サワラ並木

○似ている樹皮見分け方は?



◎本州以南の海岸に自生。  
◎樹齢推定 1,200 年以上。  
◎目通り 5.5m 樹高 27m  
◎空海が衆生済度のため来訪した祭、護摩供養をした時に植えたとの伝承あり。



サワラ



## 7. 諏訪大社下社春宮

●ケンボナシ（玄圃梨）：クロウメモドキ科ケンボナシ属  
(342cm/20m②)



◎花後果柄が膨らみ冬に熟し食べられる。梨のような甘さと食感あり。



●カツラ（桂）：カツラ科カツラ属 (382cm/26m⑤)



◎天を突く樹形が神の<sup>よりしろ</sup>依代と考えられたか。  
◎甘い香りは抹香の原料に。  
「香<sup>かづら</sup>出ら」（香りが出る）が名の由来ともいわれる。

①123



●サイカチ（梔）：マメ科サイカチ属



偶数羽状複葉



莢



種子



棘

## 8. 諏訪大社下社秋宮

●スギ（杉）：スギ科ヒノキ属 (503cm/22④)



<寝入りの杉>  
推定樹齢600~700年。  
この杉は真夜中に寝るといい、そのいびきが聞こえるそうだ。転じてこの枝を煎じて子に飲ませると、夜泣きが止むと言い伝えられているとか。

●ハクショウ（白松）：マツ科マツ属



◎針葉は3葉で、2・3葉マツ類と5葉マツ類との中間の性質を示す。  
◎特徴的な樹皮  
若木は平滑な斑模様に剥がれ成長すると白一色に。  
◎マツ類の中では比較的長寿

アカマツ：2葉

ハクショウ：3葉

ゴヨウマツ：5葉



赤松（高部・傘松）

白松



断面 180°



120°



72°

《諏訪大社上社・下社》

諏訪大社は上社（本宮、前宮）、下社（春宮、秋宮）から成っており全国に約25000社ある諏訪神社の総本社。

諏訪大社はその立地上パワースポットといわれます。富士山と立山を結ぶライン上にあり、有数の龍脈である南アルプスを背後にいただき、大断層である中央構造線上に位置することで、富士山からの強力なパワーと断層から現れる大地のパワーが集まる場所です。

上社、下社共に主祭神は建御名方神（たけみなかたのかみ）と八坂刀売神（やさかとめのかみ）で同じです。上社の神事は狩猟に係るものが多く「山の神」であるが、下社は農業に係るものが多い「里の神」で性質が異なる。

神体は上社が御山、下社は御神木で春宮が杉、秋宮が一位。

《小坂観音院》

真言宗の寺院。諏訪大社の社坊だったが中世諏訪氏の祈願所となる。井上靖の「風林火山」では諏訪頼重の娘、由布姫は武田信玄の側室となり観音院で暮らしたが25歳で亡くなっており供養塔が出来ている。

ここは諏訪八景の一つで、風光明媚、あじさいでも有名なパワースポットである。



講師：白鳥保美

1959年（昭和34年）生まれ。茅野市在住。新潟大学教育学部卒。上越教育大学大学院修了。諏訪地域の里山から高山の植物まで幅広く調査・研究している。諏訪教育会自然研究部植物委員会委員、高山植物の観察会である八ヶ岳森の学校や八ヶ岳総合博物館主催の自然観察会などの講師。中州小学校校長を定年退職した後、今年4月から原小学校や富士見小学校、本郷小学校で初任者指導教員を務めている。